

独自ブランドを強化

インバウンドにも対応

することで、和牛に対する理解を深めてきた。

用ボスターなどを掲示。さらに現地の量販店や外食店関係者に和牛に関する聞き取りなどを実施。

ア諸国の中でも、同社が経済発展が著しいアジアに期待をかけているのが今後の輸出先としてどこまでり、日本国内のさまざまな産地から厳選された和牛を、同社独自のブランド「WAGYU SAMURAI」として提案している。

同社は昨年、台北市内に現地法人を設立し、そのネットワークを駆使しながら海外ユーザーに直接販売する仕組みづくりと、日本産ブランドの価値を高めていくような活動に取り組んでいる。

2018年度の海外輸出実績は、前年度比137%と大幅に伸張。政府が推進する輸出促進の取り組みの一環として、カット技術者などによる日本産和牛知識向上セミナーやカット方法の実演などを現地で積極的に実施

「ミヨコハーオン

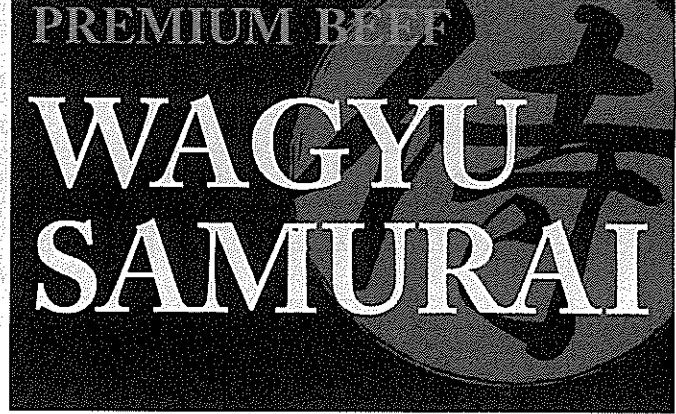
食肉の卸売業をはじめ、家畜生産ファーム事業、食肉加工品製造事業、外食運営事業、海外事業を展開するミート・コンパニオン㈱。同社では海外市場に向

けて日本産和牛の輸出事業にも積極的に取り組んでおり、日本国内のさまざまな産地から厳選された和牛を、同社独自のブランド「WAGYU SAMURAI」として提案している。

同社は昨年、台北市内で開催された台湾最大規模の台北国際食品見本市で、日本畜産物輸出促進協議会ブース内の一角に現地協力企業とともに出展。

「WAGYU SAMURAI」をPRし、台湾国内での認知度向上を図るとともに、現地協力企業との連携強化を図る。また、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックの開催が来年に迫っているが、同社では国

市場でも訪日外国人が増加する中で、インバウンド需要の高いホテル・レストランへの提案販売を強化する方針だ。しゃぶしゃぶ、すき焼きなどの外食業態向けに和牛、交換種を原料として使用し



「WAGYU SAMURAI」のロゴ

すでにタイ、フィリピンに現地法人を設立し、そのネットワークを駆使しながら海外ユーザーに直接販売する仕組みづくりと、日本産ブランドの価値を高めていくような活動に取り組んでいる。

2018年度の海外輸出実績は、前年度比137%と大幅に伸張。政府が推進する輸出促進の取り組みの一環として、カット技術者などによる日本産和牛知識向上セミナーやカット方法の実演などを現地で積極的に実施

「WAGYU SAMURAI」をPRし、台湾国内での認知度向上を図るとともに、現地協力企業とともに出展。

「WAGYU SAMURAI」をPRし、台湾国内での認知度向上を図るとともに、現地協力企業との連携強化を図る。また、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックの開催が来年に迫っているが、同社では国

市場でも訪日外国人が増加する中で、インバウンド需要の高いホテル・レストランへの提案販売を強化する方針だ。しゃぶしゃぶ、すき焼きなどの外食業態向けに和牛、交換種を原料として使用し

たサポートを行った。ベースでは和牛サーロインを展示したほか、「WAGYU SAMURAI」のボーション製品の提案を行っていく。